

本の扉

9月号

2024. 9. 27

前橋東高校 図書委員会
3年3組

今年は残暑が厳しかったですが、いよいよ秋がやってくる気配がしてきましたね。
秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋...など色々ありますが、やっぱり読書の秋ですね!!
2学期は行事もたくさんあります。ちょっとした息抜きに、ぜひ本を読んでみてください。



『鳥居の向こうは、知らない世界でした。』

(著者:友麻碧 / 出版社:幻冬舎)

20歳の誕生日、千歳は鳥居を越えて異界の「千国」に迷い込んでしまう。そこで出会う薬師のもとで人々を救う薬を作ること。元の世界では居場所のなかった千歳は、少しずつ自分らしさを取り戻していき...

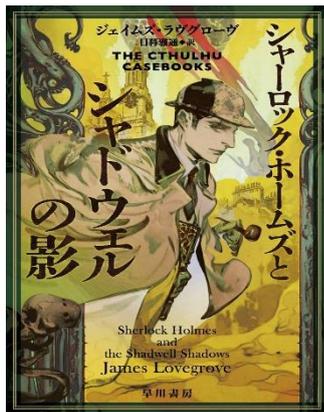
「かくりよシリーズ」などで有名な友麻さんの小説の中で特におすすめのシリーズです！

『心臓の王国』

(著者:竹宮ゆゆこ / 出版社:PHP研究所)

高校生の鋼太郎は、不可解な行動をする「アストラル神威」と名乗る青年と出会う。共に過ごすうちに見えてくる神威の秘密とは...?

発売前から話題を呼んだ「せいしゅん」物語！前半のコメディ展開から後半の衝撃な展開に涙する人も。生きることや死ぬこと、誰かを生かすことを考えさせられる1冊です。



『シャーロック・ホームズとシャドウエルの影』

(著者:ジェームズ・ラヴクローヴ / 出版社:早川書房)

「ホームズ」×「クトゥルー神話」!?

ホームズの追う怪事件の奥底には神秘と狂気が潜んでいた！真相を求め奔走するホームズとワトソンに旧き神々の魔の手が迫る!!





『氷の致死量』

(著者:櫛木理宇 / 出版社:早川書房)



殺人鬼は聖母を忘れない…。

聖ヨアキム中等部に赴任した教師の十和子は、自分に似ているという教師が14年前に殺された事件について調べ始める。だが、その事件はある連続殺人鬼へと繋がっていて…？

愛と執着が織りなすサスペンスミステリーです！！

『そして、よみがえる世界。』

(著者:西式豊 / 出版社:早川書房)



それは、少し未来のお話。

脳神経外科医の牧野は、視覚を失った少女エリカの眼に光を取り戻すための手術を行う。最先端の技術を惜しみなく注いだその手術は無事成功し、エリカはもう一度光を得ることができた。しかし、なぜか同時に黒い幻影も見えるようになり…？

第12回アガサ・クリスティ大賞受賞作です！！エモーショナルなカバーも魅力的です！



図書館の貸し出し状況(4/1~9/19)をお知らせします!

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	職員
1年	345	42	103	23	133	-	646	251
2年	68	48	63	27	19	-	225	
3年	131	54	104	59	29	93	470	
						合計	1,341	1,592

🍓 図書委員会よりお知らせ(前東生対象)

図書委員会では現在、10/19・20に前橋商店街で開催される「前橋ブックフェス」に出品する本を集めています。みなさんにもぜひ協力していただきたいです!

(※ブックフェス:「自分では読まなくなった本を次の読み手に手渡す」イベント)

本を提供した際には、図書室にメッセージカードの用意がありますので、次の読み手にむけてメッセージを書いてみませんか?カードにはアンケートのQRコードが付いているので、あなたの本を次に読んだ人から感想がもらえるかもしれませんよ(*^^)v